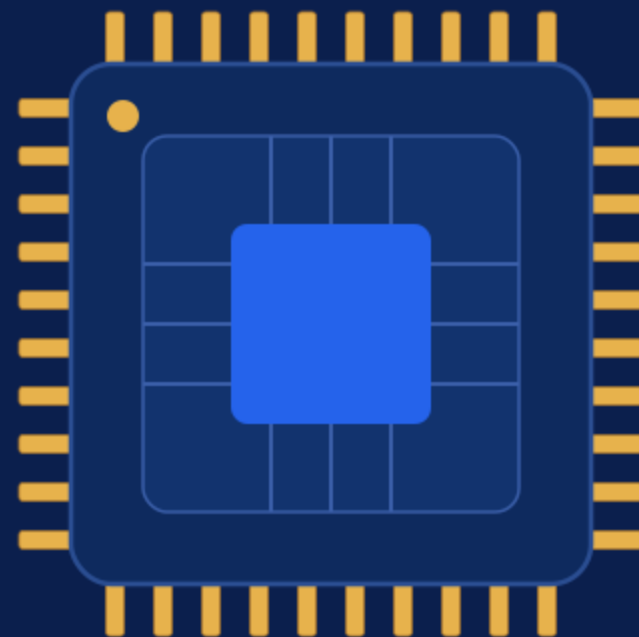


週間 米国半導体ニュース

ソブリンAIの号砲と 供給能力の現実

NVIDIA GTC Paris、TSMCの増産宣言、Broadcom余波が交錯した1週間



📅 2026年6月12日～18日

今週の要点：欧州でソブリンAI、足元は供給と規律の現実

1

+30.1%

TSMC 5月売上
(前年比・NT\$320
.52B)

2

GTC Paris

NVIDIA 欧州基調
講演
(VivaTech 6
/17-20)

3

\$90B

OpenAI×AMD
データセンター提携

4

+99%

SOXQ 年初来
(半導体ETF)

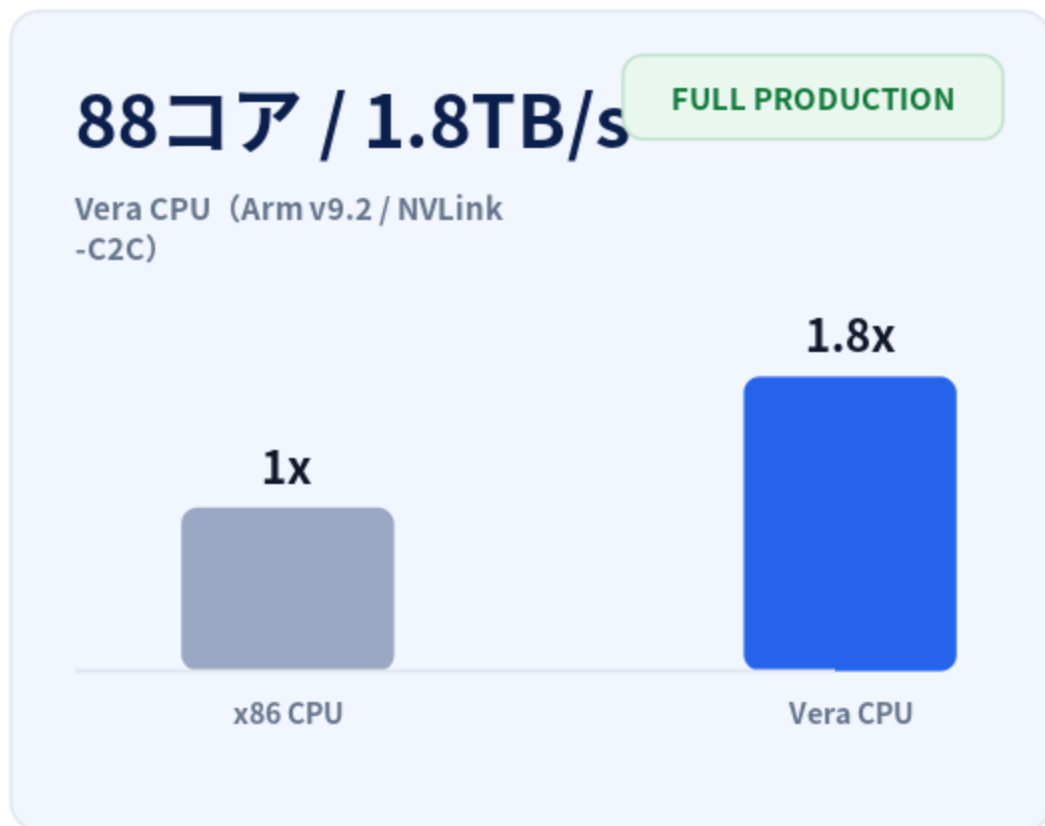
5

1.8x

Vera CPU
x86比 タスク処理速
度

「AIの無限需要」に対し、製造キャパ・投資規律・脱一強という現実解が同時に前面へ出た週。

NVIDIA GTC Paris：ソブリンAIとエージェント向けCPU



- 1 GTC ParisをVivaTech (6/17-20) で開催。AI工場・ソブリンAI・ロボティクスを欧州アジェンダに据える。
- 2 Veraは「AIエージェント向け初のCPU」。88 Armコア、NVLink-C2Cで1.8TB/s、x86比1.8倍。
- 3 各国が自国のAI基盤（ソブリンAI）へ投資を加速する潮流を後押し。

TSMC：史上最高の需要、しかし「増やしても足りない」

1 5月売上 +30.1%

NT\$320.52B。AI・先端
ノード需要が牽引。年初来+46%
。

2 米国拡張

C.C. Wei『米国の生産は全
く足りない』。増設を継続。

3 日本・ドイツ

新たな生産拠点を計画。地理的分散
を加速。

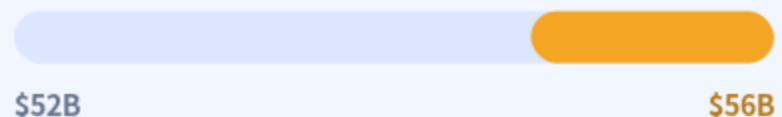
需要の源泉：NVIDIA / AMD / Apple / Broadcom のAI・先端SoC

先端キャパは構造的に逼迫。地政学に応じた地理的分散が新たな競争軸に。

AIインフラ投資：2027年に「1兆ドル」規模へ

\$1兆

NVIDIAが見込む2027年のAIインフラ需要



フィジカルAI（ロボティクス・自動運転）が、次の1兆ドル・インフラ投資ブームを誘発。

- 1 GTC Paris=AI工場の建設ラッシュ。各国の国費投資（ソブリンAI）も追い風。
- 2 ボトルネックは演算より電力・冷却。送電網と液冷が実装の鍵に。
- 3 「トークン生産効率（1ワットあたり）」が競争の新指標として定着。

脱・単一ベンダー：AIサーバの多様化が加速

Oracle

AMD Instinct MI450を5万基コミット。NVIDIA一辺倒からの分散。

OpenAI × AMD

約\$90Bのデータセンター提携。複数ベンダー調達を明確化。

カスタムASIC

Broadcom等の専用設計が「つるはし」として存在感。

単一ベンダー依存を嫌う動きが、AIインフラの調達戦略を書き換えつつある。

サプライチェーンの論点：依存の分散と期待の正常化

多様化

OracleのMI450採用、OpenAI×AMDが依存リスクの分散を示す。

脱・単一ベンダー

地理

TSMCが新拠点を計画。地政学に応じた分散生産へ。

日本・独へ

規律

Broadcom余波で、市場は『AI無限成長』からファンダメンタルズ評価へ。

期待 vs 現実

今週のテーマは『依存の分散』と『期待の正常化』。

Broadcom余波：「AI無限成長」神話に現実のガイダンス

-14%

Broadcom株価 (6/4)。Q2売上\$22.19Bは予想超も、Q3のAIガイダンス\$16Bが予想\$17.2Bに届かず。

AI無限成長 期待



現実のガイダンス

- 1 「AI限界なき成長」シナリオに冷や水。半導体セクター全体へ波及。
- 2 その後は反発。市場は熱狂からファンダメンタルズ評価モードへ移行。
- 3 『ガイダンスの質』が、AI相場の新たな試金石に。

相場：AIインフラ物色が続くも、選別は鮮明に

2026年 年初来リターン(%)

S&P500



SOXQ (半導体ETF)



≈ 10× の差

- 1 半導体ETF SOXQは年初来+99%、S&P (+10%) を大きく上回る。
- 2 6月はBroadcom起点の急落→反発。物色は『供給を握る側』へ集中。
- 3 TSMCは年初来+46%。先端連合 (NVIDIA/AMD/A pple/Broadcom) が牽引。

日本のステークホルダーへ：3つの戦略的示唆

1

ソブリンAI投資を注視

各国の自国AI基盤投資が本格化。日本の計算基盤・電力インフラに商機。

2

『脱一強』のサプライ設計

Oracle/AMDの動きに倣い、単一ベンダー前提の調達計画を見直す。

3

期待の正常化に備える

AI相場はガイダンス次第で乱高下。ファンダメンタルズ重視の目線を持つ。

出典 & 参照 (2026年6月12日～18日)

企業・製造

Reuters / NVIDIA Newsroom / DigiTimes / TechTimes

決算・市場

Yahoo Finance / Nerdwallet / kavout

AIインフラ・提携

heygotrade / 各社発表

政策・地政学

TSMC AGM 発言 / 報道各社

公開情報を自律的に統合。数値は各社発表・報道時点。※投資助言ではありません。